

## かがわ情報化推進協議会の今後のあり方（案）

### 1 課題

現在、当協議会の運営については、解散した財団法人香川情報化推進機構からの残余財産 1,866 万円余を有効活用しながら会費 1 万円で事業を継続している状況であるが、現状のままの収支状況が継続すると仮定すれば平成 23 年度末頃（約 2 年後）には繰越金が底をついてしまう。

### 2 検討方法

運営委員会において 3 回（4 月 30 日、9 月 8 日、12 月 18 日）にわたり、収入の確保や支出（事業）の見直し等を中心に、存続を前提として検討を進めた。

### 3 方向性について

- 当協議会は、地域情報化のための産学官連携の県内唯一の組織であり、これまで積み上げてきた産学官連携の取組みを引き続き行っていく意義は高いと考えられることから、協議会を存続する。
- 協議会の活性化を図るため、事業の具体化の段階においても、会員の意見が反映されるよう、工夫する。
- 協議会の活動成果を広く県民・事業者還元するとともに、協議会の認知度を向上させるため、事業活動の成果等を積極的に県民・事業者公表する。
- 県内外の情報化推進機関や団体等と相互に連携し、事業の相乗効果を図る。

### 4 事業等の見直し案

#### (1) 年会費

- 年会費 1 万円を据え置きとする。

#### 【運営委員会意見】

- ・ 1 万円の会費でどれだけのが出来るか議論すべき。
- ・ 昨今の経済状況から考えて会費の引上げは難しい。

#### 【アンケート調査回答】

- ・ 現状会費は『妥当』と多数が回答。(78% Q1-2)

(2) 講演会・セミナー

○事業を充実（回数増）し、継続する。（他団体との共催等により、会場費等のコスト削減を図る。）

【アンケート調査回答】

- ・入会理由として、一番多い回答。（34% Q1-1）
- ・現在実施の事業で、最も有益であると回答。（36% Q8-1）
- ・参加頻度が高い。（『たまに参加』、『大体参加』で72% Q2-1）

(3) 情報化体験イベント

○事業継続する。

【アンケート調査回答】

- ・事業が有益であるとの回答。（14% Q8-1）

(4) 普及啓発事業に対する支援

○事業を廃止する。

【アンケート調査回答】

- ・事業が有益であるとの回答が一番少ない。（6% Q8-1）
- ・回答の全てが『助成金を受けたことがない』。（Q7-1）  
理由として、『該当する事業を行っていない』との回答が多数である。（77% Q7-1）

(5) 視察研修会

○事業を縮小し、継続する。（年間2回から1回）

【運営委員会意見】

- ・できるだけ多くの会員に参加してもらえるように、内容や時期を検討してほしい。

【アンケート調査回答】

- ・入会理由として、3番目に多い回答。（11% Q1-1）
- ・参加頻度が低い。（『忙しい』、『参加費が高い』等の理由。Q4-1、Q5-1）

(6) 情報交流会

○事業を充実（回数増）し、継続する。（開催費の節減を図る。）

【アンケート調査回答】

- ・入会理由として、2番目に多い回答。（21% Q1-1）
- ・現在実施の事業で、有益であると回答。（15% Q8-1）

(7) 調査研究事業

○事業を当面延期する。

【運営委員会での意見】

- ・ 会員のメリット、研究成果の活用が見えない。
- ・ これまでの成果を県民や国に報告することで、ある程度結果を出すことを考えなければいけないと思う。

【アンケート調査回答】

- ・ 入会理由として、5番目の回答。(7% Q1-1)
- ・ 現在実施の事業で、有益であるとの回答が最も少ない。(6% Q8-1)

(参考)

【見直し後の事業内容】

平成21年度事業		見直し後の事業	
<b>(普及啓発事業)</b>		<b>(普及啓発事業)</b>	
講演会・セミナー	近未来情報化講演会	講演会・セミナー	近未来情報化講演会、情報化セミナー (回数増)
	情報化セミナー		
情報化体験イベント		情報化体験イベント	
普及啓発事業に対する支援		<廃止>	
<b>(情報交流・情報提供事業)</b>		<b>(情報交流・情報提供事業)</b>	
視察研修会	近隣施設視察研修会	視察研修会 (1回)	
	先進地視察研修		
情報交流会		情報交流会 (回数増)	
ホームページ運用		ホームページ運用	
<b>(調査研究事業)</b>		<b>(調査研究事業)</b>	
調査研究		<当面延期>	
<b>(企画調整事業)</b>		<b>(企画調整事業)</b>	
	総会		総会 運営委員会
	運営委員会		

【繰越金の推移】

(千円)

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入	繰越金	10,419	9,121	8,601	8,473	8,345	8,217	8,089	7,961	7,833	7,705
	年会費	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190	1,190
	負担金	492	590	590	590	590	590	590	590	590	590
	合計(A)	12,101	10,901	10,381	10,253	10,125	9,997	9,869	9,741	9,613	9,485
支出	合計(B)	2,980	2,300	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908	1,908
次年度繰越金 (A-B)		9,121	8,601	8,473	8,345	8,217	8,089	7,961	7,833	7,705	7,577

※平成22年度支出額は、平成21年度調査研究事業の報告書作成費用を含んだ金額です。